

「第3次那霸市生涯学習推進計画（素案）」に関する市民意見募集の実施結果について

「第3次那霸市生涯学習推進計画（素案）について、市民のみなさまのご意見を募集したところ、以下のご意見をいただきましたので、那霸市市民意見提出に関する要綱8条に基づき、本市の考え方とともに公表します。

貴重なご意見をお寄せいただき、心より感謝申し上げます。

1 意見募集期間 令和6年11月1日(金)～令和6年11月30日(土)

2 意見件数（提出者数） 4名・延べ6件

3 意見及びご意見に対する考え方 以下のとおり

No.	該当箇所	意見	ご意見に対する市の考え方																								
1	－	<p>はじめに…生涯学習課に対して 市民意見募集のページが那霸市のトップページにある新着情報に掲載されていないので、ページを見ている人は極端に少ないと思われる。これではパブリックコメントと呼べないのでないか。</p> <p>つぎに…意見の収集方法および考え方について 「市民から吸い上げたい意見は何か」が漠然としており、明確ではない（自由度が高すぎる）ため、我々市民は素案を見て何を意見したらいいのか（文言や構成へのダメ出しは意見とは言えず）非常に困る。 担当者は何が気になっているのか、何を悩んでいるのかなど懸念事項を添えたり、選択肢を設けるなどして市民が意見しやすい工夫を凝らして欲しい。 また、専門家ではない一般市民に対しての「計画」ということであれば、専門用語や難しい文言はできるだけ避け、老若男女を問わず伝わるのが大前提だと思う。 なので、「生涯学習」という捉える人の切り口によって見方や興味が変化するテーマを限られた紙面（PDF）でまとめようとするのではなく、動画やマンガなどを盛り込みながら見たい場所を見ることができるウェブサイトという媒体へと移行してはどうか。</p>	ご意見につきまして、本市ホームページの新着情報は最新の行政情報を常に掲載していることや新着情報一覧ページの掲載件数も限られていることから、再掲載をするなど、改善していくことを考えます。																								
2	－	<関連する主な取り組み>に記載してある事業は、その予算（できれば5年分の経緯を）も追加した方がいいと思う。	予算は単年度ごとで予算化しており、事業規模によっても不確定要素が少なくなつたため、記載しないこととしています。																								
3	P39-40 第2回那霸市生涯学習 推進計画 評価一覧	<p>例えば、(1) (①の1) のアクセス数ですが、実績値R5 : 3,635 となっていて、R6 : 3,000 を上回っているから「達成」としています。 H28 : 2,111 → R2 : 1,489 で経年後数値が下がることも有り得るので、R5 でR6の目標が上回っているからといって、R6 に数値が下がることも有り得ます。 R6/10 未点もしくは、上期総（9月末）時点で、3,000 を超えるまたは、超える見込み（統計的に）なら目標達成でも納得がいきます。例えば下図のように（朱書き部分）変更しては、いかがでしょうか？</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">指標</th> <th colspan="2">現状値</th> <th colspan="2">実績値</th> <th colspan="2">見込み</th> </tr> <tr> <th>指標名</th> <th>主管課</th> <th>指標単位</th> <th>H28</th> <th>R2</th> <th>R5</th> <th>R6年度</th> <th>R6年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1) 那霸市生涯学習情報提供システムのアクセス数</td> <td>生涯学習課</td> <td>件</td> <td>2,111</td> <td>1,489</td> <td>3,635</td> <td>1,850</td> <td>3,700</td> <td>見込値</td> </tr> </tbody> </table>	指標	現状値		実績値		見込み		指標名	主管課	指標単位	H28	R2	R5	R6年度	R6年度	1) 那霸市生涯学習情報提供システムのアクセス数	生涯学習課	件	2,111	1,489	3,635	1,850	3,700	見込値	ご意見につきましては、第3次計画の策定スケジュール上、令和6年度の実績を利用することは難しいと考えております。
指標	現状値			実績値		見込み																					
	指標名	主管課	指標単位	H28	R2	R5	R6年度	R6年度																			
1) 那霸市生涯学習情報提供システムのアクセス数	生涯学習課	件	2,111	1,489	3,635	1,850	3,700	見込値																			
4	－	<p>R5年度の現状値からR7年度以降、R11年度の目標値の数値根拠が不明です。 何故その数値としているのか？ 勉強会で、デジタル庁の表示数値が3 年度分とご説明がありました。その3年間の推移（傾向？）からその数値としている旨、根拠を記載した方が良いのでは、ないでしょうか？</p>	ご意見につきましては、柱ごとの具体的な評価について、市民意識調査の結果の推移を踏まえることとしており、地域幸福度指標については参考指標として活用します。なお、柱ごとの市民意識調査における推移の数値設定については過去の推移、新型コロナウイルスの影響等による社会状況の変化等を勘案し、達成しうる現実的な数値を設定しております。																								
5	P7 基本理念 未来への視 点新たな架 け橋	<p>「共生社会の実現」へ明確な意思表示と取り組み 私は、現代社会の課題認識として「共生社会の実現」は欠かせないと考えています。2021年、「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律（障害者差別解消法）が改正されました。行政が、障害のある人に正当な理由なく、障害を理由として差別することを禁じており、社会の中のパリアーを取り除くための、「合理的配慮の提供」は2024年4月、従来の行政に加え、事業者にも義務化されています。この改正は、障害のある人もない人も共に生きる社会の実現に向けた、極めて大きな一步と考えます。ここ至るまでには、とりわけ2014年、日本が国連の障害者権利条約を批准するに伴う、障害者の権利保障に関わる様々な法整備がありました。共生社会の実現を目指す障害者差別解消法は、かつての男女雇用機会均等法に匹敵するような、社会変革のカギとなる法律と思われ、今後、社会の様々な領域で、障害者が健常者と同様に、「当たり前」に生きていける合理的配慮や環境整備が進められていくことになります。「何事も、私たち抜きには決めないないように」という声が、障害者から出されており、生涯教育の領域でも、その声を受け止めの姿勢を前面に押し出して大きな活字で記載し、またそれを裏付ける種々の取り組みを各項目に書き込んでいただきたいと存じます。</p>	柱1にて、「誰一人取り残さない」観点から、多様な市民の、生涯学習に対する広範なニーズに対応することとしており、個別施策①においても「障がい者」をはじめとする多様な市民の潜在的なニーズだけでなく、潜在的なニーズにも対応するための取組を推進することとしています。また、ご意見を受け、コラム（12ページ）を追加しています。																								
6	P7 基本理念、 未来への視 点、新たな 架け橋、施 策体系にお ける言及	<p>「グローバル化」に対応する、域外への意識涵養施策 この度の素案を読んで、那霸市の生涯教育において那霸や沖縄以外の地域（日本の本土）、アジア、世界への言及がほとんど見られない点に、私はやや違和感を覚えました。p6「第2章 生涯学習の現状と課題」の「今後の教育政策に関する5つの基本的な方針」の筆頭には、「グローバル化する社会の持続的な発展に向けて学び続ける人材の育成」が掲げられています。これを受けて、本計画には、那霸や沖縄を囲む日本各地はもちろんアジア、更に広く世界へ、市民の視野拡大を図る具体的な施策が欠かせないのでないかとの問い合わせ、心の中にございます。 「グローバル化」は世上、しばしば言われる言葉です。以前から使われる「国際化」と共に今、地域を取り巻く世界との関わりの中で、市民が自らの特性・個性を伸ばし生きていく施策の源を成す、重要な概念と存じます。 本計画作成の基盤である「第5次那霸市総合計画基本構想」において国際化は、主に観光はじめとする産業振興との関わりの文脈で論じられているように思われます。だが「グローバル化」「国際化」は現代を生きる市民にとって、教育を含むより広い文脈で検討され、意識されるべきでなからうかと私は考えています。 那霸・沖縄の、言葉や芸能をはじめとする文化や伝統を守る営み。これは大切。同時に市域・県域の外に出掛けて異文化を知り、学び、「他者」と出会う。観光客を受け入れると共に、市民自らが旅や交流によって外の地域と繋がり、その中で得た知見を成長に活かす。そうした本土やアジア各国、幅広い国々・文化圏との交流・往来を促す施策が求められると考えています。人は目が二つある。内と外を見つめ、考える目です。それを涵養する生涯教育施策での言及に期待致します。</p>	ご意見をいただきまして、本市事例を交えながら、グローバル化および多文化共生をテーマにコラム（11ページ）としてまとめております。																								